

福井市との包括連携事業

学生アンケートによる「福井志向」に関する
調査・分析事業について

仁愛女子短期大学 講師 野本 尚美

大学生が進学や就職についてどのような意識を持ち、どのような形で影響を受けて進路の決定を行うのかを明らかにするという目的で、「福井志向」に関するアンケート調査が市内の3大学（福井大学、福井工業大学、仁愛女子短期大学）にて実施されることになり、本学では野本ゼミ生3名がこの事業に参加させていただきました。

2015年6月に福井市総務部総合政策室の担当者の方々とお会いし、アンケートの実施目的や内容についてお話を伺いました。福井市からご提案いただいた3大学共通の設問だけでなく、本学独自の設問も加えたのち『仁愛女子短期大学学生アンケート』を作成しました。7月1日のMHにて、クラスアドバイザーの先生方のご協力を得てアンケート調査を実施し、510名の在學生に回答してもらいました。

その後、専門演習の時間や夏期休暇中を利用してアンケート集計結果を分析し、福井市に対してどのような施策の提案を行うかゼミ生たちと話し合いを重ねました。10月14日、担当者の方々と会議において『「福井志向」に関する調査・分析報告書』を提出させていただきました。



10月14日の会議の様子

若い世代を福井市に定着させるための施策として①高校での進学支援活動を増やすこと、②高校生だけでなく保護者に対しても地元で進学する利点をアピールすること、③福井の大学や短大における資格取得制度を充実させること、④地元企業の知名度を上げる活動を増やすこと、⑤地元で専門的な職業に就きたい若者の就職活動を支援すること、⑥子育て世代の勤務体制を工夫すること、⑦福井駅前を活性化させること、⑧大型ショッピングセンターなどの商業施設を増やすことを私たちから市に提案させていただきました。

11月2日には福井市役所にて3大学担当教員合同会議が行われ、学生アンケート結果のほか中高生を対象としたアンケート結果や、市内企業へUIターン入社をした社会人に対するヒアリング調査の結果も参考にしながら、福井における若者の動向や今後の情報発信の仕方などについて話し合われました。

ゼミの学生達は最後にまとめた論文の中で、「私達も県外への進学や就職を一度は考えたことがあるので、身近に感じた研究だった。私たちは福井が好きなので、これからの福井を担っていく若者が減少してしまうのは残念である。これからもよりよい福井になるように、私達も出来ることがあれば協力していきたい。」と書いています。この研究を通して得られた貴重な経験をもとに、卒業後もぜひ若者の視点から情報を発信し、より魅力的な福井市を創造してほしいと思います。